

Rotary



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／牛山幸一
- 副会長／梅垣和彦・林広一郎
- 幹事／中嶋孝一
- R 情報(会報)委員長／濱 毅

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1・Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org・Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2765 回例会 2016 年（平成 28 年）8 月 30 日(火)

点 鐘：牛山幸一 司 会：上條英雄
斉 唱：我等の生業 ラッキーNo：NO. 25 今井康善

会長挨拶

先週土曜日、松本大学において米山奨学地区セミナーと R 財団地区セミナーが開かれ、私と中嶋幹事、太田財団委員長、小口米山委員長で出席してまいりました。その中で、米山奨学地区セミナーの講演について話をさせていただきます。

講演は、よねやま親善大使の于咏（うえい）さんが「報思、奉仕、繁栄」という内容での講演でした。その中で、米山奨学生が多くが博士課程を卒業し、日本、又は各国で活躍されている報告がありました。又、多くの奨学生が、社会へ出て成功しロータリアンとなり、米山功労者になっているとの事です。于咏さんも、日本で Eクラブを立上げたり活躍されている様です。

又、講演の中で、随所に「報思・奉仕」を中国の諺をまじえて話され、非常に感銘を受けました。今、日本の人々は中国に対してあまり良い感じは持っていないと思います。その中で彼女の様な人が、よねやま親善大使となり、日中の架け橋となって頑張っている姿を見、非常に心強く感じました。ぜひ、国のトップの方も見習っていただきたい。最後に「You raise me up thanks to Rotary」で締めくくられ、米山委員長、三井副理事長以下、非常に感激し言葉になりませんでした。于咏さんにおかれては、ぜひ日中の架け橋となって頑張ってください。

幹事報告

- 次週 9/6 の例会は会場がメモリーとなりますのでお間違いのないようお願いいたします。時間は 12:30 点鐘です。
- 9/13 はガバナー補佐事前訪問例会となります。例会終了後クラブ協議会を行いますので、役員・理事・委員長は出席してください。
- 茅野 RC より青少年交換事業について、2017-18 年度の受け入れホストクラブの依頼がありました。詳細は後日、書面にてご案内します。ご協力をお願いします。
- 9 月の Rレート 1 \$ 102 円(現行通り)



卓話「ロータリー財団基礎知識」

ロータリー財団委員会
太田博久委員長

皆さん、こんにちは。本年度ロータリー財団委員会委員長を仰せつかった太田博久です。

本日は「ロータリー財団基礎知識」と題しまして、私が地区財団委員会に出席して勉強した内容についてお話しさせていただきます。と申しましても、経験豊富な先輩方におかれましては至極当然の内容なのですが、私のように経験の浅いメンバーにとっては、ロータリー財団のことは、実はよくわかっていないのが本音ではないかと思えます。本年度はロータリー財団が100周年を迎える年でもありますので、私自身が地区委員会に出席して「なるほどそうだったのか」と感じたことについてお伝えし、自分が所属するロータリークラブにおいて重要な役割を担っているロータリー財団を少しでも理解する一助になればと思えます。

・国際ロータリーとロータリー財団は「車の両輪」

この言葉はよく耳にしますが、正直なところ私もよく理解できていませんでした。というのも、普通の団体では、自分たちが拠出したお金は自分たちの組織運営と活動資金として使われるのが通常だからです。ですので、私は財団が私たちの拠出した資金を管理運用する役割で、国際的な活動は国際ロータリーが行っているものと思っていました。それで、この「車の両輪」という意味がよくわかりませんでした。

実は、ロータリー財団は、私たち各クラブが集まった国際ロータリーとは別に、集まった資金を基に独自に運営される組織です。各対象地域でその地域の為に活動するクラブの集合体が国際ロータリーで、それとは別に「全世界的規模」での活動をする為に始められたのがロータリー財団だということです。その設立が1917年アーチC・クランプ会長の呼びかけでなされ、本年度で100周年になります。

「ロータリー財団は全世界的な規模で慈善・教育・その他社会貢献の分野で良い事をする為に基金をつくらうと呼びかけた」

“世界でよいことをしよう！”

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解親善、平和を達成できることです。

各対象地域で、その地域の為に活動するクラブが集まった国際ロータリー 全世界的規模で世界理解親善や平和の達成に向けて活動するロータリー財団

これが、「車の両輪」という言葉の意味です。

そうすると各クラブの活動とは別に、私たちが寄付という形で拠出する財団の資金がどんな事業に使われているのかについて、ロータリアンの一人として当然関心を持つべきだと思います。その活動のひとつが、宮坂パストガバナーが盛んに言及されている「ポリオプラスプログラム」です。これが現在の財団活動の大きな柱となっています。

私たち人類は、大昔から感染症と闘い続けています。中でも有名なのは天然痘かと思えます。ジェンナーが種痘を発明したことによって人類はワクチンを手に入れ、1980年5月8日にWHOによる「天然痘根絶宣言」がなされるに至りました。人類の長い歴史の中で、唯一根絶した感染症です。

今私たちロータリアンは、財団事業としての「ポリオプラスプログラム」によって、資金を拠出することでポリオ撲滅活動に携わっています。それは正に、人類の感染症との闘いの歴史の一部を「私たち一人ひとりが」担っていると言えるでしょう。目標の2019年撲滅まで、あとアフガニスタン・パキスタン・ナイジェリアの3か国にまで迫っています。世界規模でのこの活動に、ロータリアンのひとりとして、財団への寄付という形で、少しでも貢献していきたいものだと思います。

各クラブの活動に加え、財団への寄付を通して世界規模の活動の一翼を担う。これがロータリー活動における「車の両輪」の意義なのだと、地区財団委員会への出席で学びました。

※次回財団月間での卓話では「地区補助金」についてお伝えしたいと思います。

ニコニコボックス

太田博久 本日卓話をさせていただきます。よろしくお祈りいたします。

今井康善・牛山幸一・梅垣和彦・大橋正明・小口 隆・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・笠原新太郎・上條英雄・北澤洋之介・佐伯克己・薩摩 建・瀬戸雅三・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・濱 毅・濱 俊弘・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・宮坂晃介・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎・山崎典夫 本日は太田博久会員の卓話です。ロータリー財団のお話し、よろしくお祈りいたします。

尾関秀雄 創業96年となります。今後ともよろしくお祈りいたします。

出席報告

会員数41名、出席者33名、出席率82.50%、前々回訂正80.00%